

【ごみとわたしたちのくらしクイズの答え】

- ① ○ 料理用の油が入っていたびんも「資源ごみ」になります。
- ② × 指定ごみ袋に入らない大きなものは、「粗大ごみ」で出してください。
- ③ × ごみステーションの中のごみをカラスや猫に散らかさないように、アミやふたは必ず閉めてください。
- ④ ○ ごみを集める人がケガをしないように、新聞紙などで包んで「燃えないごみ」に出しましょう。
- ⑤ × ペットボトルのキャップとラベルは「プラスチック製容器包装」として、「資源ごみ」に出しましょう。
- ⑥ ○ 色つきのペットボトルも一緒に「資源ごみ」に出せます。ペットボトルはつぶさずに出しましょう。
- ⑦ ○ 色つきのトレイは白色トレイと分けて、「プラスチック製容器包装」として「資源ごみ」に出しましょう。
- ⑧ ○ 「資源ごみ」として出せる空きびんは、食べ物や飲み物が入っていたものです。びんの色で分けましょう。
- ⑨ × 紙パックは、切り開いて、水で洗い、乾かしてから「資源ごみ」に出しましょう。ただし、洗っても汚れが落ちないものは「燃えるごみ」になります。(500ml未満の紙パックは、きれいなものでも「燃えるごみ」になります)
- ⑩ × 『家電リサイクル法』の対象品（テレビ、洗たく機や乾燥機、冷蔵庫、エアコン）は、電気店へ

「ごみとわたしたちのくらし」 ワークブック



編集・発行

指宿市 市民生活部 環境政策課
生活衛生係

指宿市

〔

〕 小学校

年	組
---	---

名前	
----	--

〔このワークブックを利用するみなさんへ〕

私たちは生活する中で、かならず「ごみ」を出します。

指宿市では、毎年 16,000 トン以上のごみが出されており、これは市民一人ひとりが 1 日およそ 1 kg のごみを出している計算になります。

この環境学習用ワークブック「ごみとわたしたちのくらし」には、指宿市で出されたごみの行き先や、ごみを分別することの大切さが書かれています。私たち自身が出している「ごみ」のことを学び、未来の子どもたちに美しい環境を残していきましょう。

〔おうちの方へ〕

「ごみ」について、どんなイメージをお持ちでしょうか？

「汚いもの」「臭いもの」「分別が面倒なもの」として敬遠されがちな「ごみ」ですが、私たちの生活の中から発生する最も身近なものでもあります。

現在、指宿市から出されるごみの収集運搬および処分にかかる費用は、平成 29 年度で年間およそ 4 億 3,000 万円にものぼり、これは指宿市の一世帯当たり 2 万 6,000 円以上を負担している計算になります。「ごみを分別すること」は「ごみを減らすこと」であり、ひいては「指宿市民の生活の負担を減らすこと」に繋がります。

このワークブックには、将来の指宿市を担う小学生のお子さんに向けて、生活の中で出される「ごみ」を取り巻く事情について、より身近に感じていただきたい、という願いが込められています。お子さん向けの教材ではありますが、きっと大人の方々にも興味を持つていただける内容になっていると思いますので、どうぞご家族皆さんで読んでいただければ幸いです。



【たまらん三兄弟とは？】

池田湖のイッシーから産まれた卵たち。
指宿市のあちこちに転がっていって、勝手に動き出した！
みんなと一緒に、指宿市のごみについて勉強中なのです。

ごみとわたしたちのくらしクイズ

正しい場合は「○」を、間違っている場合は「×」をつけてね

	もんだい	○または×
①	使い終わった料理用の油のびんを、「資源ごみ」で出す。	
②	指定ごみ袋 ふくろ に入らない大きなものは、ひもでしばってごみステーションの外に出す。	
③	ごみステーションのアミ（または、ふた）は、次の人がごみを入れやすいように開けておく。	
④	お茶わんが割れてしまったので、新聞紙でわ つつ 包んで『キケン』と書いて「燃えないごみ」に出す。	
⑤	ペットボトルのキャップとラベルは、も 「燃えるごみ」に出す。	
⑥	色つきのペットボトルは、むしょく 無色のペットボトル いっしょ と一緒に「資源ごみ」で出す。	
⑦	はくしょく 白色トレイと発泡スチロールは、はっぽう いっしょ 一緒に「資源ごみ袋」に入れてよい。	
⑧	しげん 資源ごみとなる空きびんは、「無色びん」「茶色びん」「その他の色びん」に分けられる。	
⑨	汚れのひどい 1 リットル牛乳パックを「資源ごみ」として出す。	
⑩	テレビや洗たく機を「そだい 粗大ごみ」に出す	